

国内空港初！

早朝 LCC をご利用になるお客様の夜間滞在をいっそう快適に！ 第3ターミナル、北ウェイティングエリア、吉野家の 空席状況発信サービスの実証実験を開始！

当社は国内空港で初めて、画像解析により施設の空席状況を検知し、リアルタイムで発信するサービスの実証実験を行います。早朝の LCC 便などをご利用になるお客様は、夜間、第3ターミナルのフードコートや北ウェイティングエリアなどで過ごされますが、それらの施設間の移動には徒歩で約15分程度を要するものの、混雑状況を把握する術がなく、夜間の滞在場所を効率的に選択することが出来ませんでした。

今回、株式会社バカンが有する空席検知技術と東日本電信電話株式会社の高速通信技術を活用することで上記施設の空席状況を検知し、各所に配置したデジタルサイネージへ遅滞なく配信することで、お客様は空港に到着後、効率的に夜間の滞在場所を選択することが可能になります。更に、24時間営業の吉野家の空席状況やコンビニエンスストアの情報も発信することで、夜間滞在のいっそうの快適性向上を図ります。

1. 実験の概要

- 期 間：2018年2月19日（月）～3月22日（木）（稼働時間は24時間）
- カメラやセンサーにより、第3ターミナルのフードコート、北ウェイティングエリア、吉野家の空席状況を検知・解析し、館内各所に設置したデジタルサイネージ（別紙参照）やWEB上に表示。
- お客様は当該施設へ向かわずに空席状況を把握可能に。

2. イメージ図



3. 空席検知技術について

(株)バカンが保有する、IoTとAIによる画像解析技術を用いて空席情報を検知します。空席状況は任意の設定によって3段階で表示可能であり、さらにVDO (Vacant-driven Display Optimization) というバカンの特許技術を用いて混雑にあわせて表示を最適化します。



【別紙】

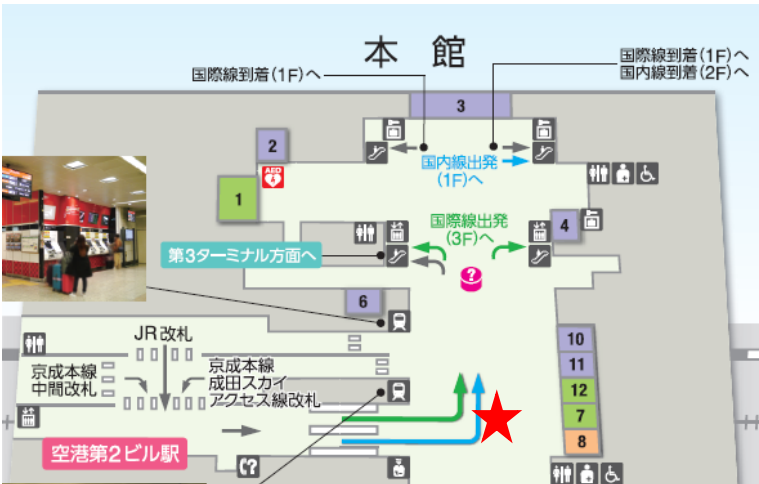


55 インチ縦型デジタルサイネージ

空席状況を「空」、「残席わずか」、「満」の3段階で表示。

★ サイネージ設置場所 (実際の設置場所とは多少異なる場合があります。)

- 空港第2ビル駅 改札外コンコース (1台)



- 第2ターミナル 1階北側
- 北ウェイティングエリア内 (2台)



- 第3ターミナルフードコート (2台)

